

番号：150916

国名：タジキスタン

担当：社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ第一チーム

案件名：道路維持管理改善プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2015年11月中旬から2015年12月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.50M/M、合計 1.00M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	15日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：11月 4日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>調達ガイドライン、様式>業務実施契約（単独型）（2014年4月以降契約）>業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出について）

(http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html) をご覧ください。

なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	タジキスタン／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の評価対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

タジキスタンは、中国、キルギス、ウズベキスタン、アフガニスタンに囲まれた国土面積143,000平方kmの内陸国であり、約30,000kmに及ぶ道路網が整備されている。国内の貨物輸送の約65%、旅客輸送の約99%を道路交通に依存し、国内の幹線道路はタジキスタン国経済・社会において重要な運輸交通インフラとしての機能を果たしている。

しかし、国内の道路網の大部分は旧ソ連時代に建設されたものであり、1991年の独立後の内戦、及び経年による損傷や老朽化が進行している。また、タジキスタン国内の道路網（国際幹線道路や国道を中心に約13,800km）を管轄する運輸省（Ministry of Transport：MOT）は必要機材や人材・技術の不足により道路を十分に維持管理できておらず、援助機関の支援で整備・改修された道路であっても損傷や老朽化が進行する要因となっている。こうした道路網の整備不足は輸送や移動の所要時間・コストの増大をもたらし、さらにはタジキスタン国内及び周辺地域の経済発展の阻害要因となっていることから、道路の適切な維持管理が課題として挙げられている。

こうした背景を踏まえ、タジキスタン国政府は道路の舗装の点検及び補修技術の向上につき、我が国に技術協力を要請した。この要請を受け、JICAは2012年12月の詳細計画策定調査で協力計画を策定し、翌2013年6月にMOTと合意議事録（Record of Discussions：R/D）を取り交わし、協力内容について合意した。このR/Dに基づき、MOTをカウンターパート機関（以下、C/P機関）として2013年10月より2016年7月までの2年10カ月の予定で技術協力「道路維持管理改善プロジェクト」を実施している。

現在プロジェクトでは、短期専門家7名（総括1、副総括/舗装点検1、舗装点検2、IRI¹調査1、IRI調査2、舗装補修1、舗装補修2/機材調達支援）が活動中である。

本調査は、2016年7月のプロジェクト終了を控え、プロジェクトの活動実績、成果を相手国側関係機関と合同で評価・確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導き出すことを目的として実施するものである。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、プロジェクトの実施状況について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

1) 国内準備期間（2015年11月中旬～下旬）

- ① 既存の文献・報告書等（業務進捗報告書、研修報告書、合同調整委員会議事録、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）や実施プロセスを整理・分析する。
- ② 既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべきデータ・情報を整理する。
- ③ 上記の評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P機関、その他タジキスタン側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（案）（英文）を作成、機構の確認を経たうえで事前送付する。なお、MOTへの質問票についてはプロジェクトで雇用している通訳（英露）による翻訳作業を経てから送付すること。
- ④ 国内で収集可能なデータを整理・分析する。
- ⑤ 対処方針会議等に参加する。

¹ International Roughness Index（国際ラフネス指数）：道路路面の平坦性を評価するための世界共通の指標

2) 現地派遣期間 (2015年11月下旬～12月中旬)

- ① JICA タジキスタン支所等との打合せに参加する。
- ② プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。
- ③ 事前に送付した質問票の回答を回収・整理するとともに、上記1) ②で作成し、タジキスタン側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、プロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行う。
- ④ 上記③で収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
- ⑤ 国内準備及び上記③及び④で得られた結果をもとに、他の調査団員及び C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行う。
- ⑥ 終了時評価調査報告書(案)(英文)を作成する。
- ⑦ 終了時評価調査報告書(案)(英文)に関する協議に参加し、協議結果を踏まえて同報告書(案)を修正し、最終版を作成する。
- ⑧ 協議議事録(M/M)(案)(英文)の作成に協力する。
- ⑨ 現地調査結果の JICA タジキスタン支所への報告に参加する。

3) 帰国後整理期間 (2015年12月中旬～12月下旬)

- ① 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)を作成する。
- ② 帰国報告会等に出席する。
- ③ 担当分野の調査結果を取りまとめ、終了時評価調査報告書(案)(和文)を作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(1)～(3)のすべてとする。

- (1) 終了時評価調査報告書(英文)
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書(案)(和文)
- (3) 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)

上記(1)～(3)については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照。留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含む(見積もりを計上すること)。航空便経路は成田(日本)ードゥシャンベ(タジキスタン)間の経済性及び利便性を考慮した路線を選択すること。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

1) 現地業務日程

本業務従事者の現地派遣期間は、当機構の調査団員に1週間先行して現地入りし、2015年11月29日～12月13日(日本発～日本着)での活動を予定している。

2) 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおり。

- ア) 総括(JICA)
- イ) 協力企画(JICA)
- ウ) 評価分析(コンサルタント)

現地調査期間中のプロジェクトチームの構成は以下のとおり。

- ア) 総括1

- イ) 舗装点検2
- ウ) 舗装補修2/機材調達支援

3) 便宜供与内容

当機構タジキスタン事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおり。

- ① 空港送迎
あり
- ② 宿舎手配
あり
- ③ 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗になる予定。）
- ④ 通訳備上
あり（質問票、協議資料、報告書等の作業において露語翻訳が必要な資料については、業務従事者がJICAを通じて、プロジェクトで雇用する通訳（英露）に依頼することとする。）
- ⑤ 現地日程のアレンジ
あり（現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ、プロジェクト専門家及びC/Pの同行等）
- ⑥ 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料を当機構社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ第1チーム（TEL:03-5226-8121）にて貸与する。

- ・「タジキスタン共和国 道路維持管理能力向上プロジェクト詳細計画策定調査報告書」
- ・PDM

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度であり、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とする（冒頭留意事項参照）。
- ②安全管理
タジキスタン国内での作業においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAタジキスタン支所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとする。
- ③不正腐敗の防止
本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に業務を行うこと。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA 担当者に速やかに相談するものとする。

以上